

地域貢献協定書

平成19年8月31日

地 域 貢 献 協 定 書

鹿児島市長 森 博幸（以下「甲」という。）と株式会社山形屋 代表取締役社長 岩元 修士（以下「乙」という。）は、乙が大規模小売店舗において、事業活動を行うにあたり、乙が取り組む地域貢献策について、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、乙が、大規模小売店舗において、事業活動を行うにあたり、地域社会の一員としての役割を十分認識し、地域との共存を図ることにより、甲が進める活力ある地域経済及び地域社会の実現に寄与するよう締結する。

（まちづくりへの協力）

第2条 乙は、甲が進める各種まちづくりの取り組みに対し協力するものとする。

（地域との連携）

第3条 乙は、地域商店街や地元町内会等と連携し、その活動に積極的に協力するものとする。

（地元製品の販売促進への協力）

第4条 乙は、地元製品の積極的な販売を促進するとともに、地産地消の取り組みも率先して推進するものとする。

（地域雇用の確保）

第5条 乙は、店舗の従業員については、地元からの優先的な雇用を行うものとする。

(防犯・防災対策)

第6条 乙は、店舗及びその周辺において防犯対策を推進するとともに、地域防災に積極的に協力するものとする。

(ユニバーサルデザインの導入)

第7条 乙は、店舗等の整備に際し、施設にユニバーサルデザインを取り入れるよう努めるとともに、地域商店街に対しても普及への協力をするものとする。

(環境や省エネルギー対策等の推進)

第8条 乙は、店舗内や店舗周辺の環境保全及び省エネルギー対策等の取り組みを積極的に推進するものとする。

(交通対策)

第9条 乙は、店舗周辺における各種交通安全対策に取り組むとともに、公共交通機関の利用促進など来店者等の交通利便性に十分配慮するものとする。

(その他)

第10条 甲は、出店地周辺地域の実情を考慮し、その他必要と認める地域貢献策を乙に求めるものとする。

(疑義の処理)

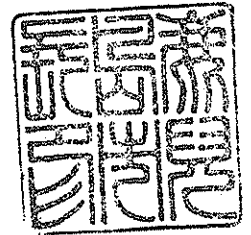
第11条 甲と乙は、この協定に定められた事項について疑義を生じたとき、又はこの協定に定めのない事項について必要が生じたときは、その都度、甲乙協議の上処理するものとする。

上記の協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、甲乙署名押印して各1通を保有するものとする。

平成19年8月31日

甲 鹿児島市山下町11番1号
鹿児島市長

森 博 幸



乙 鹿児島市金生町3番1号
株式会社山形屋
代表取締役社長

岩 元 修 士

